

第 33 期
事業報告並びに決算報告書

(2022 年度)

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団

目次

【1】第33期(2022年4月～2023年3月度)事業報告	
1 概要	1
2 活動内容	
(1) 第31回(2022年度)ヘルスリサーチ研究助成事業	1
(2) 第29回(2022年度)ヘルスリサーチフォーラム及び2022年度研究助成贈呈式 並びに財団設立30周年記念シンポジウムの開催	2
(3) 財団設立30周年記念事業の企画・実施	5
(4) ヘルスリサーチワークショップの見直し	6
(5) 財団機関誌「ヘルスリサーチニュース」発行	6
(6) 寄附金募集活動	6
3 運営に関する事項	
(1) 評議員・理事・監事・選考委員及びその他委員に関する事項(2023年3月31日現在)	6
(2) 評議員会・理事会・監査会・選考委員会に関する事項	8
(3) オフィスに関する事項(2023年3月31日現在)	10
(4) 登記・届出に関する事項	10
4 附属明細書	10
【2】 第33期(2022年4月～2023年3月度)決算	
財務諸表(貸借対照表、正味財産増減計算書)及び財産目録	11
1 貸借対照表	12
2 正味財産増減計算書	13
3 正味財産増減計算書内訳表	15
4 財務諸表に関する注記	17
5 附属明細書	19
6 財産目録	20
【3】 監査報告書 謄本	21
【資料】	
・第31回(2022年度)研究助成受賞者一覧	

【1】 第 33 期(2022 年 4 月～2023 年 3 月度)事業報告

1 概要

当財団は、ヘルスリサーチの振興を目的として、ヘルスリサーチ研究者への助成事業を中心とした活動を行っている。

第 33 期(2022 年度)の事業計画・収支予算は、2022 年 3 月 24 日に開催した第 38 回理事会にて承認を得て、下記の内容を実施した。例年の事業活動に加え、財団設立 30 周年を迎えたことを踏まえ、記念事業を実施したところである。

- (1) 第 31 回(2022 年度)ヘルスリサーチ研究助成事業
- (2) 第 29 回(2022 年度)ヘルスリサーチフォーラム及び 2022 年度研究助成贈呈式並びに財団設立 30 周年記念シンポジウムの開催
- (3) 財団設立 30 周年記念事業の企画・実施
- (4) ヘルスリサーチワークショップの見直し
- (5) 財団機関誌(ヘルスリサーチニュース)発行

2022 年度の事業実施に伴う収支(正味財産増減)決算の概要は、次のとおりである。

2022 年度の経常収益は 8,920 万円であった。内訳は、基本財産からの運用収益 5,552 万円、出捐企業からの指定寄附金総額 4,000 万円のうち経常収益への振替額 2,800 万円などであった。

「事業費」に関しては最重点事業である研究助成事業費は、3,738 万円(うち支払助成金 3,504 万円)であった。その他、ヘルスリサーチフォーラム関連費 3,336 万円(うち、会場費 535 万円、機材費 646 万円、運営人件費 801 万円)、30 周年記念事業関連費 662 万円、ホームページ関連費 72 万円等となり、「事業費合計」は、総額 8,248 万円となった。管理費は、総額 1,043 万円となり、第 33 期の事業費と管理費の合計である「経常費用計」は、9,291 万円であった。

指定正味財産期末残高は、22 億 7,521 万円で、一般正味財産期末残高については 5 億 8,316 万円となり、正味財産期末残高の総額は、28 億 5,837 万円となった。

期末基本財産は、普通預金 2,616 万円、定期預金 1 億 2,784 万円、有価証券 24 億 9,603 万円で、合計 26 億 5,003 万円となった。

2 活動内容

(1) 第 31 回(2022 年度)ヘルスリサーチ研究助成事業

今期も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による応募件数の減少が懸念されたが、国際共同研究は、1 件当たり 300 万円以内(8 件程度)、国内共同研究(年齢制限なし)は、1 件当たり 130 万円以内(14 件程度)、国内共同研究(満 39 歳以下)は、1 件当たり 100 万円以内(14 件程度)と、前年度と同規模の助成計画にて実施した。

また、従来、郵送のみとしていた書類提出方法を、応募者の事務負担軽減に鑑み、オンライン送信に変更し、財団ホームページ上に新たな応募システムを搭載した。

応募件数は、新型コロナウイルス感染症に拠る医療現場への影響が継続しているものと考えられるが、合計で 81 件と前年度より減少した。

選考の結果、国際共同研究 4 件、国内共同研究(年齢制限なし)17 件、国内共同研究(満 39 歳以下)6 件、合計 27 件が採択された。各カテゴリーの助成案件については別添資料のとおりである。

<応募状況並びに採択結果>

():前年度、金額:万円

	応募件数	採択件数	助成金額
国際共同研究	22 (21)	4 (8)	1,096 (1,573)
国内共同研究(年齢制限なし)	42 (59)	17 (15)	1,887 (1,659)
国内共同研究(満 39 歳以下)	<u>17 (24)</u>	<u>6 (7)</u>	<u>521 (534)</u>
合計	<u>81 (104)</u>	<u>27 (30)</u>	<u>3,504 (3,766)</u>

<公募状況>

2022 年 4 月 1 日～6 月 30 日	公募期間
2022 年 4 月～6 月	財団ホームページにて公募案内を掲載するとともに、リーフレットを全国の大学各学部(医学部、薬学部、歯学部、保健学部、社会福祉学部、看護学部、経済学部、法学部等)及び学会、研究機関、報道機関、厚生労働省、過去年度の助成者、財団役員等、約 8,500 件送付。また、一部学会の機関誌等に公募案内広告を掲載。
2022 年 4 月～6 月	医療経済研究機構機関誌にて公募案内広告を 3 か月間(4 月号～6 月号)掲載(無料)。

<選考日程>

2022 年 8 月 18 日	選考委員長による予備選考
8 月 26 日～9 月 25 日	選考委員 書面審査
9 月 26 日	選考委員 選考結果回答期限
10 月 12 日	第 81 回選考委員会－書類選考による助成案件の決定
10 月 21 日	選考委員長より理事長への助成案件の選考・決定の答申
10 月 24 日	理事長が全理事に対して選考結果を通知 (定款第 46 条報告の省略)
10 月 26 日～27 日	応募者本人への結果通知(書面)
12 月 17 日～18 日	第 31 回(2022 年度)研究助成贈呈式開催
12 月 22 日～	助成金振込み

(2) 第 29 回(2022 年度)ヘルスリサーチフォーラム及び 2022 年度研究助成贈呈式並びに財団設立 30 周年記念シンポジウムの開催

本年度は、「ヘルスリサーチ 30 年－次世代のヘルスリサーチを目指して」をテーマとし、旧主務官庁である厚生労働省の後援を得るとともに一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構の協賛を得て、2 日間の日程で開催した。

今期も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み、会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド形式にて行った。また、オンライン参加者の利便性に鑑み、全プログラムを YouTube にてライブ配信を行うとともに、全国のオンライン参加者からも広く質問が受けられるよう質問投稿システムも YouTube 上に搭載した。

更に今期は、財団設立 30 周年の記念行事として、「記念シンポジウム」を同時開催するとともに、会場の一室では記念展を開催し、財団活動 30 年間軌跡パネル、フォーラムやワークショップ、役員会などの懐かしい写真のスライドショー、財団刊行物の展示を行った。

研究助成贈呈式では、2022 年度受賞者 27 名中、11 名が来場し、来場者には、中村理事長より、贈呈状が授与された。受賞者による各助成研究のショートプレゼンテーションが行われた後、山崎選考委員長より 3 つのカテゴリーごとに助成研究に関する講評が行われた。

ヘルスリサーチフォーラムでは、2020 年度に助成した国際共同研究及び国内共同研究 27 演題のうち、21 演題と昨年未発表であった 2019 年度助成研究 11 演題の他、公募から選考を経て採択された一般演題 2 演題の合計 34 演題の研究発表が行われた。

また、30 周年記念シンポジウムでは、永井 良三 氏(自治医科大学学長)による基調講演『ヘルスリサーチへの期待と課題 この 10 年を振り返る』に続き、財団役員 4 氏をパネリストに迎え、中村理事長の司会・進行によるパネルディスカッションを行った。

<開催概要>

日 時： <1 日目> 2022 年 12 月 17 日(土) 9 時 30 分 ~ 17 時 15 分

<2 日目> 2022 年 12 月 18 日(日) 8 時 55 分 ~ 17 時 15 分

会 場： 紀尾井カンファレンス メインルーム(東京都千代田区紀尾井町)

オンライン： MS Teams Meeting(発表者)、YouTube*(視聴者)*Live 配信のみ。

テ ー マ： 「ヘルスリサーチ 30 年—次世代のヘルスリサーチを目指して」

後 援： 厚生労働省

協 賛： 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

参 加 者： 研究成果発表者、研究助成受賞者、ヘルスリサーチ研究者、関係官庁、一般参加者、出捐会社役員、財団役員等、約 80 名。

プログラム： <1 日目>

① 開会挨拶

中村 安秀 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長

② ご来賓挨拶

伯野 春彦 氏(厚生労働省大臣官房 厚生科学課長)

田中 伸彦 氏(一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構 研究主幹)

原田 明久 氏(ファイザー株式会社代表取締役社長)

③ 第 31 回(2022 年度)研究助成選考経過・結果発表

山崎 力 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事、選考委員長

④ 第 31 回(2022 年度)研究助成贈呈式

中村 安秀 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長

⑤ 第 31 回(2022 年度)受賞研究発表 講評： 山崎選考委員長

・ 国際共同研究 4 件

・ 国内共同研究(年齢制限なし) 17 件

・ 国内共同研究(満 39 歳以下) 6 件

⑥ 財団設立 30 周年記念シンポジウム

基調講演『ヘルスリサーチへの期待と課題 この 10 年を振り返る』

演者：永井 良三 氏(自治医科大学 学長)

パネルディスカッション『次世代のヘルスリサーチを目指して』

パネリスト：

井伊 雅子 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事

平井 愛山 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 評議員

平野 かよ子 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 評議員、選考委員

山崎 力 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事、選考委員長

総括：永井 良三 氏(自治医科大学 学長)

司会・進行：中村理事長

⑦ 第 29 回(2022 年度)ヘルスリサーチフォーラム

[セッション 1] 2020 年度助成研究成果 4 題

2019 年度助成研究成果 1 題

2022 年度一般演題 1 題

座長：矢作 恒雄 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 選考委員

<2 日目>

⑧ 第 29 回(2022 年度)ヘルスリサーチフォーラム

[セッション 2] 2020 年度助成研究成果 3 題

2019 年度助成研究成果 3 題

座長：平野 かよ子 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 評議員、選考委員

[セッション 3] 2020 年度助成研究成果 5 題

2019 年度助成研究成果 1 題

座長：長谷川 剛 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事

[セッション 4] 2020 年度助成研究成果 3 題

2019 年度助成研究成果 2 題

座長：甲斐 克則 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 評議員、選考委員

[セッション 5] 2020 年度助成研究成果 2 題

2019 年度助成研究成果 2 題

2022 年度一般演題 1 題

座長：伊賀 立二 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 選考委員

[セッション 6] 2020 年度助成研究成果 4 題

2019 年度助成研究成果 2 題

座長：川越 厚 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 選考委員

以上

なお、本フォーラム講演録は、発表者の校閲を経て 2023 年 8 月頃発行予定である。

(3) 財団設立 30 周年記念事業の企画・実施

今期は、財団設立 30 年であり、下記の 30 周年の記念事業を企画・実施した。費用については、2013 年度から毎年積み立てていた 30 周年事業積立基金を充当した。

なお、記念事業のうち、「30 周年誌制作」、「財団活動の実績と課題の把握」については仕掛中となっている。財団設立 30 周年という節目の重要な事業であり、2023 年 11 月を目途に、完了できるように進めている。

1) 記念イベントの実施

30 周年記念イベントとして、本年度のヘルスリサーチフォーラムと同日開催にて、「30 周年記念シンポジウム」を企画した。テーマを「ヘルスリサーチ 30 年～次世代のヘルスリサーチを目指して」とし、関係各位の多大なる御尽力を得て、実施することができた。基調講演とパネルディスカッションにより、今後益々重要性が高まるヘルスリサーチについて社会的な認知度の拡大を図った。記念シンポジウムの詳細は、(2)⑥に記述のとおりである。

2) 30 周年記念誌の刊行

以下のコンテンツにて、30 周年記念誌の制作を開始した。今期中に原稿作成及び入稿ができなかったコンテンツについては、来期中の完成を目指し継続実施中である。

① 「ヘルスリサーチ」をテーマとした寄稿集

② 「ヘルスリサーチ」をテーマとした座談会

形 式：永井良三氏(自治医科大学学長)と中村安秀理事長による対談。

テ マ：「ヘルスリサーチの新しい地平を切り拓く」

日 時：2022 年 11 月 15 日(火) 15 時 00 分～17 時 00 分

会 場：『御岳』京王プラザホテル 42 階 (東京都新宿区)

③ 財団設立 30 周年記念事業「3)財団活動の実績と課題の把握」から得られた助成傾向などのデータの一部を掲載。

④ 財団記録集(助成研究データ、フォーラム及びワークショップ暦年データ、年表など)

3) 財団活動の実績と課題の把握

過去 30 年間の財団活動の実績を可視化するとともに、現状分析を行うため、研究助成関連データの整備を行った。データ分析までは今期中には着手することができなかったが、今後の研究助成事業にとって必要なデータであり、2023 年 11 月を目途に分析を完了させるべく引き続き取り組んでいく。また、ヘルスリサーチ研究者を対象としたアンケート調査については、質問票を作成し、理事会からのフィードバックを得て、10 月より財団ホームページにて掲載中であるが、回答数が伸び悩んでいるため、来期に改めて告知活動を行うこととしている。

(4) ヘルスリサーチワークショップの見直し

ヘルスリサーチワークショップ事業については、昨期に「ヘルスリサーチを志向する研究者の育成支援事業」という財団公益事業目的に立ち返り、当事業のあり方(参加機会が開かれているか、開催方法は適当か等々)について所要の検討を加え、新たな活動を企画することについて理事会並びに評議員会の承認、賛同を得るとともに様々な意見・提案が寄せられた。

今期は、それらの意見・提案を集約するとともに、引き続き、理事長、常務理事、事務局にて検討を重ねた結果、中村理事長を委員長とする新たな検討委員会を立ち上げ、具体的な事業内容の検討は同委員会にて行うこととした。また、新規事業の開始時期は 2024 年夏頃を目途とし、来期 1 年間をかけ、最終的な事業計画を立案することを理事会に提案し、承認可決された。

なお、新たな事業計画については、内閣府への相談を行った上で進めて行く。

(5) 財団機関誌「ヘルスリサーチニュース」発行

今期は、従来の紙媒体での発行事業を見直し、ホームページの活用、編集体制の改編、紙媒体コンテンツを計画していたが、これまで機関誌編集を担っていた制作会社の廃業に伴い、新しい制作会社の選定を行う必要が生じた。来期から新たな財団機関紙の発行に向けて、新たな制作会社と、編集体制、新コンテンツ案について検討を進めている。

(6) 寄附金募集活動

出捐企業であるファイザー株式会社からの指定寄附金 4,000 万円及び個人から 1 万円の寄附金があった。

3 運営に関する事項

(1) 評議員・理事・監事・選考委員及びその他委員に関する事項(2023 年 3 月 31 日現在)

<評議員>

役 職	氏 名	所 属
評議員	姉川 知史	名古屋商科大学 教授／慶應義塾大学 名誉教授
評議員	梅田 一郎	元ファイザー株式会社 取締役名誉会長／ 一般社団法人新時代戦略研究所 理事長
評議員	甲斐 克則	早稲田大学大学院 法務研究科 教授
評議員	河北 博文	社会医療法人河北医療財団 理事長
評議員	黒川 達夫	一般社団法人日本バイオシミラー協議会 理事長
評議員	島内 憲夫	順天堂大学 名誉教授／広島国際大学 客員教授
評議員	西村 周三	京都先端科学大学 経済経営学部経済学科 教授
評議員	平井 愛山	千葉県循環器病センター臨床研修アドバイザー／ 日本慢性疾患重症化予防学会 代表理事
評議員	平野 かよ子	宮崎県立看護大学 学長

以上 9 名。

<理事・監事>

役 職	氏 名	所 属
理事長	中村 安秀	公益財団法人日本 WHO 協会 理事長
常務理事	鈴木 修	高崎商科大学 特任教授／税理士／ 公益財団法人公益法人協会 主任研究員
理事	安達 一彦	元一般財団法人救急振興財団 専務理事
理事	井伊 雅子	一橋大学国際・公共政策大学院 教授
理事	小松 浩子	日本赤十字九州国際看護大学 学長
理事	坂巻 弘之	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
理事	長谷川 剛	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 特任副院長
理事	福原 俊一	京都大学医学研究科 特任教授／福島県立医科大学 副学長／ Johns Hopkins 大学 Bloomberg School of Public Health 客員教授
理事	丸木 一成	国際医療福祉大学大学院 教授
理事	山崎 力	国際医療福祉大学 副大学院長／未来研究支援センター長
監事	宇都宮 啓	医療法人社団健育会 副理事長／慶應義塾大学 客員教授
監事	山田 章雄	山田章雄公認会計士事務所／公認会計士

以上、理事 10 名、監事 2 名。

<選考委員>

役 職	氏 名	所 属
委員長	山崎 力	国際医療福祉大学 副大学院長／未来研究支援センター長
委員	姉川 知史	名古屋商科大学 教授／慶應義塾大学 名誉教授
委員	伊賀 立二	東京大学 名誉教授
委員	大木 幸子	杏林大学 保健学部看護学科 教授
委員	甲斐 克則	早稲田大学大学院 法務研究科 教授
委員	梶井 英治	茨城県西部メディカルセンター 病院長
委員	川越 厚	在宅ホスピス研究所パリアン 代表／森の診療所 医師
委員	伯野 春彦	厚生労働省 大臣官房 厚生科学課長
委員	平野 かよ子	宮崎県立看護大学 学長
委員	矢作 恒雄	慶應義塾大学 名誉教授

以上、10 名。

<ヘルスリサーチワークショップ幹事・世話人>

役 職	氏 名	所 属
代表幹事	山崎 元靖	済生会横浜市東部病院 副院長
幹事	永森 志織	NPO 法人難病支援ネット・ジャパン 理事
幹事	山岡 淳	大阪成蹊大学経営学部 准教授
世話人	池田 誠	SMP Laboratories Japan Co., Ltd. Vice President
世話人	中山 俊	アンター株式会社 代表取締役／東京医科歯科大学 客員准教授
世話人	花木 奈央	大阪大学大学院医学研究科社会医学講座 特任助教
世話人	金城 謙太郎	帝京大学総合診療科 教授
世話人	小島 健一	鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士
世話人	小林 美穂子	東邦大学看護学部 助教

以上9名。

(2) 評議員会・理事会・監査会・選考委員会に関する事項

[1] 評議員会

第15回 2022年6月20日(月) 15時00分～16時30分

Web会議(中継会場:ファイザーヘルスリサーチ振興財団事務局オフィス)

第1号議案 第32期(2021年度)決算書類承認の件

第2号議案 評議員・監事・理事選任の件

報告事項 (1)第32期(2021年度)事業報告

(2)新選考委員選任の件

第1号議案については、原案のとおり承認可決された。

第2号議案については、理事会からの要請も踏まえ審議の上、原案のとおり承認可決された。

[2] 理事会

① 第40回 2022年5月23日(月) 17時00分～19時00分

Web会議(中継会場:ファイザーヘルスリサーチ振興財団事務局オフィス)

第1号議案 第32期(2021年度)事業報告の件

第2号議案 第32期(2021年度)財務諸表の件

第3号議案 新理事候補選定の件

第4号議案 新選考委員選任の件

第5号議案 定時評議員会の開催日時、場所、目的である事項等の件

報告事項 理事長職務執行報告

以上5案が、原案のとおり承認可決された。

なお、第3号議案については、財団規程年限を超えた例外規程による再任について、一部理事より疑義が出され、評議員会において例外規程による再任であることを十分に審議されるよう要請があった。

その他、理事長の執行状況が報告された。

- ② 第 41 回 2022 年 6 月 27 日(月) 16 時 00 分～16 時 30 分
Web 会議(中継会場：ファイザー株式会社 18 階 E01 会議室)
第 1 号議案 代表理事および業務執行理事の選任の件
以上 1 案が原案のとおり承認可決され、代表理事(理事長)に、中村安秀氏、業務執行理事(常務理事)に、鈴木修氏が選出された。
- ③ 第 42 回 2023 年 3 月 13 日(月) 15 時 00 分～16 時 40 分
Web 会議(中継会場：ファイザー株式会社 18 階 N01 会議室)
第 1 号議案 第 34 期(2023 年度)事業計画の件
第 2 号議案 第 34 期(2023 年度)収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件、並びに特定費用準備金の取り崩しの件
第 3 号議案 選考委員の選任の件
第 4 号議案 役員賠償責任保険継続の件
報告事項 (1)理事長職務執行状況
(2)常務理事職務執行状況
以上 4 案が、原案のとおり承認可決された。

[3] 監査会

第 32 期監事監査 2022 年 5 月 11 日(水) 14 時 00 分～16 時 00 分
ハイブリッド会議(中継会場：ファイザー株式会社 18 階 18E01 会議室)
(a) 事務局から「第 32 期事業報告並びに決算報告書(案)」を説明
(b) 監事からの質疑と理事長、事務局長による応答
(c) 監事からの指摘事項の修正
以上 3 項目が実施され、後日、監事による監査報告書への捺印が行われた。

[4] 選考委員会

- ① 第 81 回 2022 年 10 月 12 日(水) 14 時 00 分～17 時 10 分
Web 会議(中継会場：ファイザー株式会社 18 階 18E05 会議室)
第 1 号議案 第 31 回(2022 年度)助成案件の選考に関する件
第 2 号議案 第 29 回一般演題 応募者選考に関する件
第 3 号議案 第 29 回ヘルスリサーチフォーラム・プログラムに関する件
その他報告等
事前の書面審査に基づき、本選考が行われ、本年度の研究助成候補案件並びに一般演題の採択案件が決定された。また、第 29 回ヘルスリサーチフォーラムのプログラム概要が決議された。
- ② 第 82 回 2023 年 3 月 3 日(金) 10 時 00 分～12 時 00 分
ハイブリッド会議(中継会場：京王プラザホテル南館 4 階「なつめ」)
第 1 号議案 第 32 回(2023 年度)研究助成公募内容・選考方法等の件
第 2 号議案 第 30 回(2023 年度)ヘルスリサーチフォーラムの件
第 1 号議案では、来期(2023 年度)のヘルスリサーチ研究助成の概要並びに選考方法が検

討・決議された。第 2 号議案では、2023 年度フォーラムの概要が決議され、30 回目を数えるヘルスリサーチフォーラムのテーマとして、「ヘルスリサーチ 30 年—少子化社会を乗り越えるヘルスリサーチ」が決議された。フォーラム 30 周年記念シンポジウムの形式及び登壇者は、後日、改めて選考委員より提案を募ることとなった。

(3) オフィスに関する事項(2023 年 3 月 31 日現在)

ファイザー株式会社本社ビル(渋谷区代々木 3-22-7 新宿文化クイントビル)21 階にて、36 平方メートルを賃借している。必要経費以外は全額ファイザー株式会社が負担している。

(4) 登記・届出に関する事項

- [1] 2022 年 6 月 30 日に、第 32 期(2021 年 4 月～2022 年 3 月度)事業報告・貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録等を内閣府(内閣総理大臣)にオンラインにて提出した。
- [2] 2022 年 7 月 14 日に、評議員、理事、監事の改選に伴う登記変更を行った。
- [3] 第 29 回(2022 年度)ヘルスリサーチフォーラム開催に際し、2022 年 11 月 21 日に厚生労働省後援の名義使用を申請し、2022 年 11 月 28 日に許可を得た。
- [4] 2023 年 3 月 31 日に、第 34 期(2023 年度)事業計画、収支予算書を内閣府(内閣総理大臣)にオンラインにて提出した。

4 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、附属明細書は作成しない。

以上